



私の願い 仏の願い

この間ある方から「神や仏もあるものから始まる宗教」という言葉を聞いてド

キツとした記憶がありま

す。多分なのですが、この言葉は私たちは何を拝んで

いるのか、私たちは何のため

に拝んでいるのかと言うことが問われているのではないかと感じて

います。 私たちのお参りというの

いいのだろう
かという思い
も私にはある

世の中ってよい世の中なの
でしょうか。

仏教では人間を凡夫と押さえます。私たちの宗祖親鸞聖人は「凡夫というは、無明煩惱われらが身にみちみちて欲も多く、いかり、はらだち、そねみ、ねたむところ多くひまなくして、臨終の一念にいたるまでとどまらず、きえずたえずと水火二河のたとへにあらはれたり」とおっしゃっておられます。無明・本当のことがわかってなくて、煩惱が我が身に満ち満ちているのが人間であり、私であるといわれています。私の煩悩まみれの願い事は神仏が

今日のことば

私たちは本当に神仏を
拜んでいるのでしょうか？
自分の欲望を拜んでしまっている
のではないかな…



聖典講座

大谷派八組 (お東の射水周辺の集まり)

正信偈のお心を聞く講座です。今回が初回で合計3回 (4月18日、5月16日) 常入寺にて行われます。講師は皆さん方から好評でした、一昨年報恩講でお話いただいた金沢市の松扉覚 (しょうひさとる) さんです。参加無料です。是非ご参加ください。

日時 3月21日 (日) 午後2時より4時くらいまで
会場 常入寺本堂 布教使 松扉覚師 (繅専)
参加費 無料 (ただし、途中賽銭を集めさせていただきます)

※マスク着用など感染予防をしてお越しください

彼岸会兼城端別院巡回法座

日時 4月4日 (日) 午後1時30分より3時30分まで

会場 常入寺本堂 布教使 未定

参加費 無料 (ただし、何度かお賽銭を集めさせていただきます)

また、城端別院への祠堂並びに万人講の受付をいたします。

※新型コロナウイルス感染症拡散予防のためマスクをつけてお越しください。

同居されているかたがおられるのならば、できますれば皆さんでお読みください

共に生きる道

けとめられる
発言をしてし
まい世界中で

皆さんジェンダーフリーという言葉をご存じでしょうか。社会的性別にこだわらないという意味です。また、「従来の固定的な性別による役割分担にとらわれず、男女が平等に、自らの能力を生かして自由に行動・生活できること」と定義されます。男女共同参画という言葉につながる言葉だと思つてます。

話題になりましたね。私はやっぱり男側にたつてものを見てしまつていいるからか、高齢だし仕方ないな、でも立場あるお方だからやめなくてはならないなど発言をテレビで見えて思つていました。でもその後のテレビの反応を見ていいると仕方ないつていう雰囲気はなかつたですね。

汗) 今年の二月の初めよりこのことがよくテレビに取り上げられていますよね。以前総理大臣もなさつていた、今はもうやめになられました。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の会長だった森喜朗さんが女性蔑視と受

彼が辞意表明をしたときにまた、「解釈の仕方だ」とか「そういう意図でいいたわけではない」「女性を蔑視する気持ちは毛頭ない」というような反省の気持ちがないのではと受けとめられるようなことをいわれてしまい、また物議を醸すことになってしまいました。

図はなかつたとか女性を蔑視する気持ちは毛頭ないといわれたこと私は嘘ではないと思ひます。蔑視する気がなくても結果してしまふのか差別というものなのではないかと私は思つてます。言葉を気をつけてさえおれば、行動さえ気をつけてさえおれば差別はなくなるものではないと思ふのです。三つ子の魂百までといわれるくらい奥までしみこんでしまつていて、わずかな割れ目からしみ出してくるものではないでしょうか。そういう悲しみのなことに気づいて行くことが差別をなくすという歩みでは大事だと私は思ひます。あの人は差別者だ！と他人を非難するにとどまるのではなく、私に染み込んでしまつていいる差別性に一緒に気づいて行くことが本当に大事だと思ふなつて思ふわけ



【あとがき】三月になりました。住職がこれを仕上げているときは二月の大雪の時です。二月半ばだといふのにとぼやいていいる最中です。(恥ずかしい)春といふのは冬が終わつてやつてくるものです。冬の苦労があつてなおさら春の心地よさが来るのではないでしようかね。だから今年の春はいつも以上に気持ちのよいことではないでしょうか。そう信じたものです。本当に待ち遠しいです。春よ来い、早く来い。お寺も少しずつ動き出します。時代に合つたお寺になるために。

暖かくなつてきました。

朝寝坊日曜礼拝

に参加しませんか？

当寺では毎週日曜、皆さんに本堂に集まつていただき一緒に『正信偈』のお勤めをおこなう場を開いています。みなさんとお勤めするだけです。時間は15分程度で終わります。月参りのお勤めが少しでも上手になりたいというお方にも最適かと思ひます。どうぞ日曜日の朝、覚えておられたら是非ご参加ください。お勤めの本もあり。お待ちいたしております。参加者が少ないです。お願いします。

開催日 毎週日曜日 午前8時より

内容 正信偈 草四句目下 和讃 同朋奉讃式

持ち物 念珠、マスク、その他必要のもの

参加費 無 料

※発熱や体調の優れない方は参加をお控えください

発行 真宗大谷派 常 入 寺

電話 九三〇一〇一六一 富山市東老田七八七
住職携帯 (〇七六) 四三六一〇八一六
発行責任 青井 和成
九〇一三七六四一三九八三



LINEはこちらから
LINEは「こちらから」

お参りの変更
法事の相談
その他

こちらからでもできます

